

「令和4年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.9)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和4年9月17日（1日）

研修先：株式会社いわて若江農園（盛岡市）

■ 研修生について

県外で他業種に従事し、将来、本県での就農が選択肢にあるというKさんとLさん。

会社員から転身し、Uターン就農を実現した若江社長に是非お話しを聞きたい！と、ご夫婦でお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

非農家出身の若江社長は、県外で自動車メーカーのエンジニアをしていますが、岩手県にUターンしご夫婦で就農しました。

就農から7年目に、トマト専業の株式会社いわて若江農園として新たにスタートし、県内でいち早く環境制御機器を導入しました。

現在、70aの施設でトマト（大玉・中玉・ミニ）を周年栽培しています。

【HP】 https://agri.mynavi.jp/2020_07_01_120709/

※「マイナビ農業」タイアップ記事

【FB】 <https://www.facebook.com/wakaefarm/>

■ 研修の内容

ミニトマトの収穫・パック詰め、施設見学、就農準備から現在に至るまでのガイダンス

■ 研修の感想

- ・ ネットで調べるだけではわからない、就農への決断の経緯や、農地の取得・資金の確保といった、就農にあたってぶつかる「壁」とその解決策について、直接聞くことが出来て良かったです。（Kさん）
- ・ 「独立・自営就農は起業であり、生産だけでなく、経営感覚が必要だ」という若江社長の言葉がとても印象的でした。（Kさん）
- ・ 初期投資や売り上げなどの具体的な金額や、就農に対する考え方など、リアルな部分を丁寧に教えてくださいました。今後、自分達が考えなければならぬことがたくさんあると気づくことができました。（Lさん）

■ 今後の目標等

研修を機に、これから時間をかけて、就農について夫婦でしっかり考えていこうと思います。

